

「森の人をつなぐ」

① 「森の人をつなぐ」刊行の経緯

- －1, 山部会10年の活動の軌跡を共有、周知
大局から蔵治、森の健康診断、担い手づくり事例集を洲崎
- －2, 森林ボランティアの歴史とありよう
- －3, プロの林業者の苦悩と誇り
- －4, ブラック産業からの脱却
- －5, 豊田森林組合と豊田市森林課の取り組み
- －6, 現場のこだわり
- －7, 後日談



② 成果

第1刷100部の配布実績は右表のとおり。
市町村など配布できず、追加希望が多かったが増刷待ちでお願いしている。
まずは、流域内の林業事業体及び森林ボランティア団体に配布したい。
出来れば、愛知県、岐阜県、長野県の森林関連行政機関、森林組合にも。
全国の流域圏懇談会活動を行っている河川事務所。
林野庁、都道府県林政課、など需要は多いと思われるので、
早急の増刷を提案します。

豊田森組	15
岡崎森組	15
恵南森組	5
根羽森組	15
浜田	5
赤堀	3
豊橋河川	3
豊田市	1
岡崎市	0
恵那市	0
根羽村	0
おいでん	5
蔵治	3
洲崎	3
山本	3
ワーカー	5
夕立山	3
残り	16
	100

2024 年 7 月恵那場所の話題提供とフィールドワーク（案）

日時：2024 年 7 月 26 日（金）

場所：岐阜県恵那市岩村町 308HYAKKEI

恵那市山岡町久保原の山林

日程

13：30 開会

通常議題

15：30 話題提供 「古町家とヤマの終活」（丹羽健司）

築 120 年の古町家と畑と庭、そして小さな山林を継いだ 70 男。

「半農・半カフェ・ちょい移住」の 2 拠点生活の現実。

空き店舗、空き家、お寺、お墓、耕作放棄地、管理放棄山林・・・。

終活の先には何があるのだろうか？（第 2 部内容と棲み分け必要）

16：30 その他

17：00 閉会

18：00 ～懇親会（HYAKKEI）

（宿泊：やなぎ屋）

7 月 27 日（土）

8：00 朝食（HYAKKEI）

9：00 集合・出発

9：30～11：00 施業地案内（佐藤・丹羽）

12：00～ 昼食（HYAKKEI）

13：00～ 第 2 部開会

対談：「高齢素人山主と若手山守りのヤマの終活談議」

2024 年 6 月、先代から継いだ小さな山林をほぼ皆伐しました。

いつまで間伐を続けるの？伐期を迎えたヤマを先送りせずに見届けてみたい。

再造林はどうするの？雑木林もいいな？

どれだけあったの、どんな木があったの、いくらになったの、

いくらかかったの、いくら残ったの？

施業の苦労は？山主の無理難題は？

すべての葛藤や決断、手続きとデータ、金額をオープンします。

●プロ山守:佐藤大輔（佐藤林業、夕立山森林塾代表）

× 高齢素人山主：丹羽健司

14：00～ フリートーク

15：00 閉会

主催：矢作川流域圏懇談会山部会

共催：NPO法人夕立山森林塾